

おどろか 議会だより

第120号 2022.4.3



contents

値中 3 年生模擬議会 議場で堂々と一般質問	・・・2～
定例 3 月会議（令和 4 年度予算審査を中心に）	・・・6～
教育長！ 町と町民が丸で留学生の受け入れを	・・・14～
町内のいろいろな工事などのようす	・・・22～
北松西高生卒業レポート発表	・・・24～
議会は不要？ 何をしているの？	・・・31

値中3年生模擬議会



～自分の将来と小値賀の未来を考える～

令和3年12月15日、小値賀中学校3年生が6つの個人・グループに分かれて「中学生模擬議会」の一般質問に挑みました。

小値賀中学校では、郷土小値賀について学んだことを基に、自分の将来と小値賀町の未来について真剣に深く前向きに考えていけるよう、キャリア教育を進めています。

1年生で学んだ小値賀学、2年生の職場体験学習、そして3年生では小値賀の未来について考え、それを学習発表会の劇で表現してきました。

その集大成となるのが議場で行う「一般質問」です。

かなり緊張していたようですが、貴重な体験になったのではないのでしょうか。

少子高齢化と人口減少について

若者の流出を止めるための町の対策は



松原和紀議員

閩人口がこのまま減り続けると、小値賀町は、町として機能することが難しくなると思う。

若者が本町からどんどん出て行ってしまっている一番の要因は労働環境の低さにあると思う。

今いる人がいなくならないように、町はどのような対策をとっているのか。

●漁業関係では、輸送コストへの補助、漁場の生産力の向上に対する取り組みへの支援、漁船エンジンの修理の費用の補助などを行っています。

また、水産加工業を始めた事業者にも、必要な費用の補助も行っています。

ただ新規漁業就業者は少なく、これからは本町の水産業の今後の方向性について関係機関等と協議しながら、必要に応じて国や県と連携した支援を実施していきたいと考えています。

農業関係でも、漁業と同じような内容の支援を行っています。

商工、観光業においては、新しく事業を起こす人や事業を拡大する人への支援などを行っています。

公衆トイレをもつと整備してほしい

公衆トイレについて



田川翔明議員

問 西町公園の前にある公衆

トイレは和式で利用しにくく、漁協近くの公衆トイレは、便器にタバコを吸った跡があるなどとても汚い。

利用しやすいようきれいに改修してほしい。

答 西町公園前のトイレは和式で老朽化も進んでいるため、新たな場所に建てることも視野に入れて考えていきたいと思っています。

漁協近くのトイレは洋式ですが、男女兼用のため利用しにくい面もあります。

このトイレも設置から随分経っているので、改修または建替えについて協議し

ていきたいと思っています。



問 観光客も使いやすいように外国語の表示板を設置したり、トイレの数を増やすことも必要ではないか。

答 今後も定期的な点検を行い、改善の余地があるもので、すぐにできるものについては、そのつど改善を行っていきます。

大規模な改修や新設に関しては、関係者と協議を行い、整備の方向性をしっかりと決めていきます。

海ごみを減らす持続可能な取り組みは

海岸のごみ箱設置について



前田海洋議員
川口優紀議員
北村和月議員
笹山心春議員
森幸奈議員

問 小値賀町では、海ごみなくそう&ごみ収集カレンダー」の配布や小中高合同海岸清掃、町内一斉海岸清掃などが行なわれているが、まだまだ海にはたくさんのごみがある。

ポイ捨てをする人が減り、砂浜から海に流れ出るプラスチックなどのごみを少しでも減らすために、海岸にごみ箱を設置してはどうか。

答 ごみ箱を設置することで逆にごみを持ち帰る人がいなくなり、ゴミが増える可能性があります。

また、カラスやイタチなどが食い荒らしてごみが散乱することも考えられます。

むしろ「ゴミは持ち帰る」などのマナーをしっかりと守るよう強く周知していきたいと考えています。

問 SDGs※の項目14に関する本町でのアクションの予定はあるのか。

答 海岸漂着物事業の拡大やボランティア活動への支援のほか、海ゴミに対する町民の皆さんの意識を高める取り組みも必要だと考えています。

皆さんのアイデアを取り入れながら、本町ならではの「SDGsの達成」に向けて努力していきたいと考えています。



※ SDGs(エス・ディー・ジーズ)

持続可能な開発目標の略。

17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されている。その14番目が「海の豊かさを守ろう」で、海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用することを目標としている。

若者が働ける施設を増やしては

施設不足について



前田玲緒議員
大久保直季議員

● 小値賀町で働く若者を増やしていくために、町内に娯楽施設やコンビニエンスストアなどの新しい施設を増やすことが必要だと考える。

今後、新しい施設を増やしていく予定はあるか。

● 娯楽施設やコンビニなどは小値賀町に住みたい、働きたいと思える環境づくりが重要で、そのために必要な施設については整備をしていきたいと考えています。

● 町人口減少が進む中、町内各地域をまわる移動販売車が今後とても重要になると思う。

各商店がこの移動販売車を準備するのは難しいので、町が補助をして準備運営することはできないか。

● 移動販売車の購入も可能な補助の制度があります。

今は前方地区への週2回の出張販売を商工会にお願いしていますが、これからの時代のニーズにあった買い物支援サービスについても検討していきたいと考えています。

若い人を呼び込むために 島に着いてから楽しめる施設を

若者人口の減少について



門田竜空議員
遠山琉伊議員

● 若い人口を増やすために、町は離島留学制度や小中学校の教材の費用の負担などのほか、どんな対策をとっているか。

● こども園の保育料を無料にして子どもを預けられる環境を整備しています。

また、子どもの医療費の助成も行っています。

さらに部活動で遠征する際の旅費の補助など、保護者の負担軽減を図ることにより、子育てしやすい環境づくりを行っています。

● 若い人を呼び込むためには、本土から小値賀に来やすくなるのが大切だと思う。

例えば、より速い船を導入して本土からの所要時間を短くすることはできないか。

● 船の所要時間は、運航会社の努力もあり、以前に比べると速く、利用しやすくなっていると思います。今後も海上交通に関してご意見が多くあれば、町としても運航会社へ要望をしていきたいと思っています。



● 小値賀に着いてから楽しめるものを増やすことも必要だと思う。
特に冬に小値賀の良さを感じられる施設、例えばガラス張りで魚が自由に泳ぐアクアリウムを設置してはどうか。
● アクアリウムは、過去にはあわび館に大きい水槽がありましたが、観光の目玉とはなりませんでした。
現在、冬でも本町を満喫できる体験型の観光をアイランドツーリズム協会に取り組んでいただいているところでです。

医療問題について



辻悠希斗議員
門脇健史議員

問 台風時に重体患者が発生したというような状況を想定してのオンライン診療の準備はしているか。

答 最後の手段である海上自衛隊の大型ヘリも利用できない場合は、診療所の医師・スタッフが全力で治療に当たることになります。

問 診療所では最新のデジタル化に対応した医療機器を順次更新しており、救急搬送においても診療情報のやり取りが格段に上がっていますが、タブレットや携帯画面を通じた診察までは進んでいません。

県内では離島と本土を結んでの遠隔診療の実証実験も行われており、関係機関の助言などをいただきながら、その体制整備に向けて準備をしていきたいと思っています。

問 診療所の医師や看護師不足も問題だ。

答 打開策の一つとして、医師や看護師を目指す学生に、資格取得後は町内の仕事に従事するという条件付きの給付型奨学金制度を全国の若者を対象として設けてはどうか。



【令和4年定例3月会議にてこの奨学金制度の導入が決まりました。】

答 現在本町では看護師、放射線技師、検査技師、理学療法士などを目指す方を対象にした奨学金制度がありますが、医療や保健職に限られています。広く本町以外の方も利用しやすいようにと、役場の中の検討委員会で協議を行っており、できれば来年度からでも実施できないかと思っています。

昨年の宿題（質問）に対する回答もありました

昨年の中学生模擬議会における佐野美海議員・杉谷桜空議員・森拓己議員の質問（左記参照）に対する町長の答弁がありました。

問 以前に行われた中学生模擬議会で「トライアスロン大会の開催」という提案が出されたが、「各関係機関の協力が必要で、今後関係各機関の皆さんの意見を聞きながら検討していく。」との回答だったが、その後の経過は。

答 解決すべき課題が多く、町として開催に向けた協議には至っていません。課題を解決する方法など関係機関と連携して研究を行い、実施できるか否か次回の模擬議会で回答したいと思います。

答 町民の皆さんが協力して大会を運営できれば、協働のまちづくりに役立つとともに、交流の促進、経済の活性化にもつながります。隣の宇久島では2008年から6年間トライアスロンの開催に取り組みました。

しかし開催できたのは3回だけで、その理由は台風などいろいろあったようですが、一番はスタッフ不足で、最も距離が短い大会でもスタッフは300人、専任職員も2名は必要だということでした。



まちづくり・観光・社会体育担当の庁内3部局と商工会およびアイランドツーリズム協会が集まって協議をしましたが、本町でトライアスロン大会を開催することは非常に難しいとの結論に至っています。

定例 3 月会議



人口減少問題解決に向けて

定住促進、子育て支援、起業・事業拡大の支援など全力で

新年度予算を可決

令和4年定例3月会議を
3月7日から14日までの8
日間の日程で開催しまし
た。

今回の定例会議のメイン
テーマは令和4年度の小値
賀町の予算です。

人口減少問題の解決に向
け、定住促進、子どもの教
育や子育て支援、医療の充
実、起業や事業拡大に対す
る支援、後継者対策、産業
振興に重点を置いた予算編
成方針になっており、一般
会計と7つの特別会計それ
ぞれで活発な質疑が行われ
ました。



西村久之町長

予算のほか、各会計の今
年度の補正予算、条例の改
正、選挙運動費用の公費負
担に関する条例の制定、指
定管理者の指定などの議案
が出されました。
慎重に審議を重ね、すべ
て全会一致で可決成立して
います。

中村教育長に質問

一般質問は今田光弘議員
が登壇、小値賀町ふるさと
留学制度に対する中村慶幸
教育長の考えを真剣に、熱
く質しました。(14ページ
〜)。



「私にも言わせて」(模擬公聴会)

令和4年度一般会計予算

町民1人当たり約175万円

(前年度当初予算:約170万円)

予算総額 39 億 8300 万円 (歳入・歳出ともに)

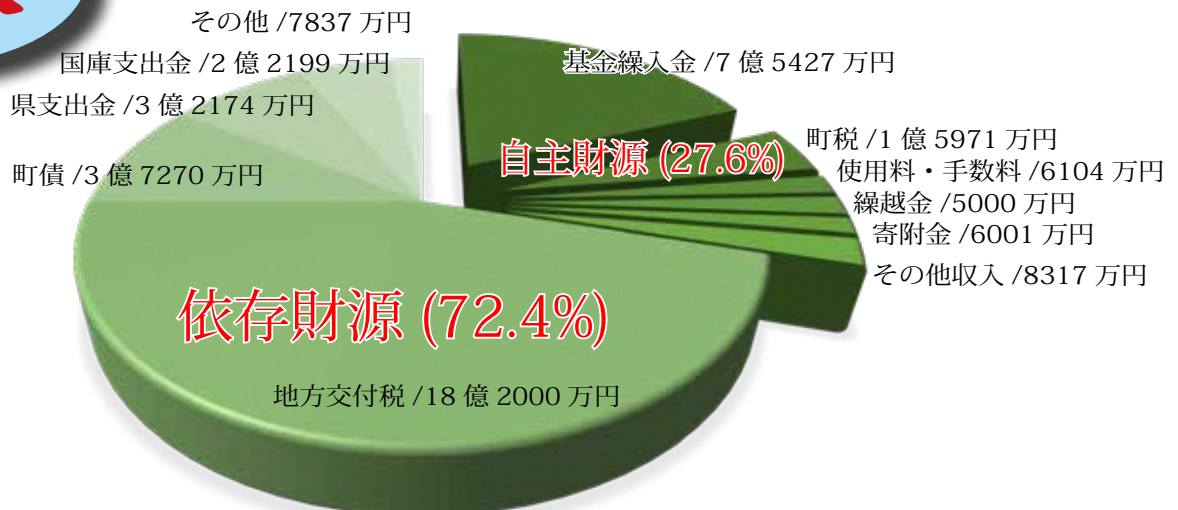
歳出

令和4年度に使われる町の大切なお金の内訳

衛生費	8 億 1418 万円	192 万円減	保健衛生、環境衛生、健康、清掃などに要する費用
民生費	5 億 9415 万円	2678 万円増	社会福祉、児童福祉、生活保護などに要する費用
農林水産業費	5 億 8385 万円	7452 万円減	農林水産業の振興や松くい虫防除などに要する費用
総務費	5 億 4205 万円	3114 万円減	役場全体の維持管理、徴税、選挙などに要する費用
教育費	4 億 3219 万円	1 億 4738 万円増	小中学校、公民館などの管理や離島留学に要する費用
公債費	4 億 756 万円	1078 万円増	町債として町が借りたお金を返済する元金と利子
土木費	2 億 1601 万円	900 万円増	道路や町営住宅の維持管理などに要する費用
商工費	1 億 8866 万円	3973 万円減	商工業の振興や観光に関する費用
消防費	1 億 0993 万円	1110 万円減	消防団や消防署などに要する費用
議会費	5063 万円	279 万円増	議会運営や議員に係る費用
その他	4382 万円	1067 万円増	諸支出金、予備費など
合計	39 億 8300 万円	4900 万円増 (前年度当初予算額との比較増・減)	

(端数処理により内訳と合計が一致しない)

歳入



依存財源：国や県から定められた額を交付・割り当てられるお金や金融機関から借りてくるお金
自主財源：町が直接集めるお金（この比率が高いほど自主的な財政運営ができる）



二元代表制 予算は町民が選んだ町長が提案

決めるのは 町民が選んだ議員が集まる議会

すべての審査を終えてから各会計ごとに採決を行い、8会計すべて全会一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決まりました。審査を終えた議員からは、
・地方交付税の確保をもう少し真剣に。



委員長は今田光弘議員

町長から提出された令和4年度予算は、質疑の場を予算特別委員会（今田光弘委員長）に移して審査を行いました。
明日の小値賀町のため、そして町民のため、町民が納得し理解が得られる予算か否か、議員も執行部も真剣に、時には熱くなりながらも冷静に真摯なやり取りを2日間続けました。



熱のこもった答弁も

・人材確保が今後ますます困難になる中で、選択と集中を効率的に行うべき。
・予算では見えづらいが、不納欠損が生じないか心配だ。
・今後公共施設の老朽化対策などにより地方債は増えると思われ、実質公債費率を注視する必要がある。
・満足とは言えないが、執行部の苦勞も認められる。
・多くの新規事業があり、予算をフルに使って事業の推進を。
等々の意見が出されました。

日を改めて開いた本会議では、予算特別委員会委員長が審査報告を行い、続いて宮崎良保議員が賛成の立場から討論を行いました。
その後の採決では8会計とも全会一致で「賛成」となり、小値賀町の令和4年度の予算がすべて成立しました。



賛成討論をする宮崎良保議員

※デマンド交通

時刻表どおりに決まった停留所を回るのはではなく、利用者が予約を入れて、その時間に指定された場所へ送迎する交通サービスのこと。メリットもデメリットもあると言われている。

予算特別委員会での主なやりとり

歳入関連

■ 地方交付税対策として、国は地方交付税を前年度より6153億円増額するとしている。

■ それにもかかわらず前年度当初予算より1億円しか増やしていない。もう少し積極的な予算を立てられたのではないかな。

■ 実際にはもう少し増えると思うが、予算としては確実な額を計上している。

■ 町民税と固定資産税での過年度分の滞納額が計上されているが、収納の見込みは。

■ 町民税は30%、固定資産税は15%の収納率で計上している。

■ 葬斎場の火葬料39万4千円は何件を想定か。

■ 3年間の平均で49件。

■ 関係する人のことを考えると安すぎないか。利用者の負担を増やすべきでは。

■ 町民にとって葬儀の負担は大きいため、ずっとこの

料金のままだ。

■ 今のところ値上げは考えていないが、今後の検討課題としたい。



黒崎政美委員

歳出関連

寄附金を人材育成に

■ 人材育成のための費用にふるさと納税による寄附金を充ててもらいたい。

■ 返礼品にとられるのではなく、町の覚悟、意気込みを見せてほしい。

■ 本町のふるさと寄附金の使い道は7項目で、人材育成への活用も含まれている。

■ これからも各方面にPRしていきたい。

■ 町内で就職する若者向けのいくつかの事業が計画されているが、さらに充実させるべきではないか。

■ 人材募集に本腰を入れてなかったように思われるかもしれないが、事業を活用して今まで以上に人材募集に力を入れていく。



松屋治郎委員

■ 主要バス停にWi-Fiスポットを設置して通信実験を行うデマンド交通※実証事業が計画されているが、スマホを持たない人もいるので効果は疑問だ。

■ 災害発生時や観光案内にも活用が期待できるので、効果はあると考える。

■ 可燃ごみの収集が週に2回に減ることで、ごみ収集業務の委託料は下がるはずではないか。

■ 委託料は例年、ごみの量の実績で計上している。

■ 収集回数は減るが、島外搬出のために大型のごみ収集車に積み替える必要があり、手間は増える。

■ 新年度の実績を踏まえ、翌年度以降に反映させたい。

ゆうきセンターの稼働は

■ ゆうきセンターが稼働していないようだが、今年度予定していた修繕が終わっていないのか。

■ 修繕は終わったが、原材料の野草が足りていない。

■ 除草作業では雑木も入ることが多いため、畜産農家の使えない刈草ロールも利用するなど、確保に努めている。

■ 多面的機能支払交付金事業などで生じた草も利用してはどうか。

■ 検討していきたい。

主なやりとり

納島担当の地域おこし協力隊の効果はあるのか

問 納島を担当している地域おこし協力隊員2名分の費用817万5千円の効果は。

答 地域の行事に若手が入ると助かるとの声をきく。

またインスタグラムなどで納島の魅力を発信している。

5月頃には民泊もオープンの予定で、ほかにもダイビングなどの企画を考えている。

問 二人が所属する会社は大阪にあり、そこでの往來の旅費も含まれているが、おかしくないか。

答 住民票は本町にあり、大阪と行き来している。

大阪では在籍する会社のノウハウを活かして納島に関連する別の作業を行っており、旅費は適正であると考えている。

問 六島で仕切り網の内側の藻場はだいたい回復しているようだが、その後の藻場を広げる展開は。

答 六島から広げていきたいが、場所はまだ決まっていない。

問 前方漁港（筒井浦と近浦地区）の車止めの設置はいつ頃か。

答 依頼して納品・設置まで7か月程度はかかるようだ。

問 設置に当たっては、取付位置など地元との調整を。

答 今後打合せをして、進めていきたい。



末永一朗委員

問 発泡スチロール減容器購入事業（385万円）の内容は。

答 現在では発泡スチロールを薬品で溶かしているが、その薬品が高額なことで作業員の体力的な負担を軽減するため、導人を考えている。リサイクル可能な形に圧縮して島外に搬出する。

雇用機会拡充事業は

問 雇用機会拡充事業の状況は。

答 申請は7件あったが、審査を経て事業拡大が3件、新規起業が1件の予定。

問 申請が通らなかったケースがあるということか。

答 前年度までは申請すべてが採用されたが、実績の中

で事業計画の甘さが続出していることから、審査が厳しくなった結果だ。

問 イノシシやカラスの駆除はしているが減っていないように感じる。何か工夫が必要ではないか。

答 イノシシは今年度166頭を捕獲していて、被害は年々減り気味ではある。

いろいろ新しい取り組みや工夫もしているが、苦慮しているのは事実だ。

問 有害鳥獣ではないが、野良猫の対策はとれないか。

答 地域猫として地域住民が管理する方法はあるが、そのための予算や人員の確保は難しく、今後の課題としていきたい。



浦英明委員

特別会計予算審査

令和 4 年度 7 会計予算総額 23 億 6580 万円

前年度より
1 億 4792 万円 ↓

◆国民健康保険事業◆

4 億 7538 万円

前年度より
1781 万円 ↑

【主な歳入】

県支出金	3 億 5477 万円
国民健康保険税	8666 万円
一般会計から繰入	3364 万円

【主な歳出】

国民健康保険給付費	2 億 8412 万円
県への納付金	9910 万円
保険事業費	578 万円

◆渡船事業◆

7280 万円

前年度より
418 万円 ↑

【主な歳入】

一般会計から繰入	3600 万円
国庫支出金	1665 万円
渡船事業収入	997 万円

【主な歳出】

はまゆう運航費	3193 万円
さいかい運航費	1425 万円
総務費	1497 万円

◆介護保険事業◆

3 億 8563 万円

前年度より
1487 万円 ↑

【主な歳入】

国庫支出金	1 億 1054 万円
一般会計から繰入	6089 万円
介護保険料	5589 万円

【主な歳出】

保険給付費	3 億 5378 万円
地域支援事業費	2598 万円
総務費	584 万円

◆後期高齢者医療保険事業◆

5459 万円

前年度より
326 万円 ↑

【主な歳入】

後期高齢者医療保険料	2638 万円
一般会計から繰入	2264 万円

【主な歳出】

広域連合負担金	4607 万円
総務費	787 万円

◆簡易水道事業◆

8390 万円

前年度より
6290 万円 ↓

【主な歳入】

事業収入	5339 万円
一般会計から繰入	1850 万円
町債	1100 万円

【主な歳出】

総務管理費	5334 万円
公債費	2956 万円

◆下水道事業◆

1 億 6080 万円

前年度より
976 万円 ↑

【主な歳入】

一般会計から繰入	9950 万円
下水道使用料	2900 万円
国庫補助金	800 万円

【主な歳出】

公債費償還金	8445 万円
公共下水道管理費	3908 万円
農漁業集落排水管理費	1851 万円

◆国民健康保険診療所◆

11 億 3270 万円

前年度より
1 億 3490 万円 ↓

【主な歳入】

一般会計から繰入	5 億 6845 万円
診療収入	2 億 1940 万円
町債	3 億 3110 万円

【主な歳出】

新診療所施設整備費	6 億 6070 万円
医薬品衛生材料費	1 億 3649 万円
医業用機械器具費	3123 万円



こども園の職員用駐車スペースの整備工事



300万円

16 台分 330 m²を整備予定

町有作業船「かいほう」の機関換装・ブリッジ改修などの費用



1200万円

魚探・プロッターも設置

医師の確保を図るため新診療所に隣接して常勤医師の住宅を 2 棟建設



8000万円

現在の医師用住宅 2 棟

令和 4 年度の主な 新規事業

事業の効果が効率的に発揮されるか
議会は常に注視していきます

総合体育館の劣化に伴う改修工事の基本設計・実施設計などの費用



1470万円

避難施設なのに雨漏り

古民家まつなが邸（古民家ステイ鮑集）の屋根替などの工事費用



2300万円

風向きにより雨漏り

老朽化が進む旧野首教会の保存のための実施設計などの費用



1000万円

多くの観光客が訪れます

その他の主な新規事業

大島分校体育館の改修工事と校舎改修の実施設計	1 億 1860 万円
新診療所の一般什器類や医療関係備品購入費	4404 万円
柳東地区の防火水槽を地中化する工事	1540 万円
学校給食を社協ではなく町直営で実施	1470 万円
筒井浦地区・近浦地区の岸壁に車止めを設置する	1250 万円
「たんぽぽ荘」のエレベーターの改修工事	990 万円
し尿処理場の汚泥脱水機を更新	550 万円
就労に必要な資格を取得しようとする後継者支援	240 万円

町道野崎本線（学塾村の近く）を無電柱化して景観の保全を図る



5970万円

観光客の避難路の安全確保も

町道唐見崎線の土砂崩れを防ぐ工事を引き続き行う



4636万円

工法は今までと同じやり方で

姫の松原を守るために松くい虫防除の薬剤を樹幹注入



147万円

松約 80 本に薬剤約 500 本を注入

令和 4 年度の主な 継続事業

小値賀町民全体の福祉につながっているか議会は常に注視しています

海岸漂着ごみの回収や「海ごみなくそう & ごみ収集カレンダー」を配布する



2096万円

今日も多くの海ごみが

老朽化した葬斎場の改修工事を引き続き行う



3418万円

快適に通夜ができるように

農水産物の海上輸送に係る費用の 8 割を補助する



2978万円

うち漁業関係には 2458 万円

その他の主な継続事業

障がい者自立支援のための給付事業	1 億 2645 万円
困窮者の生活の保障や医療・介護に係る費用	3240 万円
社会福祉協議会運営費の補助	2330 万円
児童を養育している者に児童手当を支給する事業	1854 万円
担い手公社の運営補助	1432 万円
国境離島居住者の航路運賃を下げるための負担金	1300 万円
小値賀交通の運行補助	1200 万円
社協の公共交通空白地有償運送事業の運行補助	821 万円

教育長！

一般質問

「小値賀町ふるさと留学制度について」

本町の未来を左右する重要な取り組みだ

地域全体でふるさと留学制度を推進します

今田光弘議員

高校を存続させて人口減少を食い止め、町の存続にもつなげようと始まったこの制度。

平成26年度から調査研究を続け、令和2年度にスタートして3年目を迎えようとしている。

町ふるさと留学生在が暮らす寮のスタッフの確保や質の向上は、留学制度の成功の可否を握る大きなポイントであるとともに喫緊の課題だと思うが。

◎中村慶幸教育長

スタッフの確保には、正直大変苦労しています。地元の有償ボランティアと教育委員会事務局の職員がサポートしてスタッフの負担軽減を図っています

が、一方で事務局職員の負担が増えています。いわゆる「一本釣り」で町内外の方への直接の声を聞けるなど、これからも情報発信に注力し、また研修機会の確保にも努めていきたいと思っています。

町内外の方への直接の声を聞けるなど、これからも情報発信に注力し、また研修機会の確保にも努めていきたいと思っています。



今田光弘議員

小中高一貫教育を1年間の留学でどう生かすか

◎留学生在の受け入れは「しま親」型で小学校5年生以上、入寮型は中学校1年以上で、期間の延長は可能だが基本は1年間。

留学制度のうたい文句の一つ「小中高一貫教育」を1年間のふるさと留学にどのように活かすのか。

◎答 本町の小中高一貫教育は「豊かな自然環境と歴史・文化、そして、それらを守り、育ててきた人」をベースとした、恵まれた教育環境あつてのものです。

各学年でそれを生かしたさまざまな取組みがなされており、都会から来た子どもたちにとっては、今までにない環境であると思います。

例えば1年間であつたとしても刺激になり、豊かな人

間形成の一助となるのではないかと思います。

また、本町の子どもたちにとつても、それまで都会で育った子どもたちと交流することは、同様のことが言えるのではないかと思います。

◎問 もう少し「小値賀町ふるさと留学協議会」の力を借りてはどうか。

◎答 協議会の会長・副会長の負担が重くなり、また常勤ではないため対応がさらに遅くなる懸念があります。協議会や地域の方々のご理解とご協力は重要であり、引続き、より良い体制作りを図っていきます。



3人の留学生は地元に戻り 新年度は新たに3人が入寮

オール小値賀町で取り組みが必要では

●町民の皆さんのご理解とご協力がなければ、安定的かつ長期的な留学生受入れは困難です。

●町民の皆さんのご理解とご協力がなければ、安定的かつ長期的な留学生受入れは困難です。

●町民の皆さんのご理解とご協力がなければ、安定的かつ長期的な留学生受入れは困難です。

まずは教育委員会が一丸

となつて行政全体へ、さらに対話を通じた共通認識・相互理解を深めながら親御さん、そして町民の皆さんへと、一つひとつ積み上げていきたいと思っています。

そうすることで、新たな「しま親」や、寮運営などに積極的に関わる人が増えていくのではないのでしょうか。

●町民の皆さんのご理解とご協力がなければ、安定的かつ長期的な留学生受入れは困難です。

●町民の皆さんのご理解とご協力がなければ、安定的かつ長期的な留学生受入れは困難です。

●町民の皆さんのご理解とご協力がなければ、安定的かつ長期的な留学生受入れは困難です。

●町民の皆さんのご理解とご協力がなければ、安定的かつ長期的な留学生受入れは困難です。

●町民の皆さんのご理解とご協力がなければ、安定的かつ長期的な留学生受入れは困難です。

●町民の皆さんのご理解とご協力がなければ、安定的かつ長期的な留学生受入れは困難です。

傍聴席から一言 (模擬公聴会)

解、そして地域全体が共通認識、問題意識を持って、ふるさと留学が推進されるよう、努めていきたいと思っています。



答弁する中村慶幸教育長

私も言わせて

人口減少対策、高校の存続の問題という大人目線だけでなく、子どものニーズに合わせた目線が必要だ。また、事実ベースで話をして信頼関係を築き、その積み重ねを次につなげていってもらいたい。

行政自体も人手不足で悪循環になっている。すべて、ではなくスリム化してシンプルに進め、本町が存続できるような最低限のレベルを確保する時期に来ているのではないか。

町のことを思う熱い議論に感動した。先生や生徒も議会を傍聴してほしい。教員や学校関係者で協力できることもあるので、連携して取り組んでほしい。

～質問を終えて～

長年、産業振興課長として地元とのつながりを大事にしながら町の産業の発展に尽力され、その手腕を見込まれてこの1月に任命された中村教育長には期待するものが非常に大きい。

この留学制度に対する教育長の熱い思いを実現できるよう、私も協力してこの制度を盛り上げていきたいと思っています。

令和 3 年度

一般会計補正予算

※繰越明許費（くりこしめいきょひ）

歳出予算のうち、その性質上またはやむを得ない特別な事情により、その年度内に支出が終わらない見込みのものを翌年度に繰り越して使用できる費用。

18の事業を令和4年度に繰り越し

新型コロナウイルス感染症の影響による事業の未執行や経費の削減などにより、1億8653万円減額した40億5109万円の補正予算が提出され、慎重に審査を行い、全会一致で可決成立しました。
なお、18の事業合計で4億3680円が繰越明許費※として計上されています。

歳入関連

町営住宅の家賃が上がって困っている人も

問 町営住宅と町有住宅の使用料補正の理由は。

答 町営住宅は、前年の所得が増えたために家賃が上がったのが3件。

町有住宅は、途中退去者が出たことと耐用年数を超えたために家賃が安くなった。

問 所得が増えたために町営住宅に住むことがでなくなったが、転居先が見つからずに困っている人がいると聞く。

答 町営住宅は家賃に法のしほりがあり、やむを得ない。問 空いているのなら、安くしても入れた方が町の収入

にもなる。

人口を増やそうというのならもう少し考えるべきではないか。

答 町営住宅を家賃を自由に設定できる町有住宅にすることも考えていきたい。

問 ふるさと納税の寄附金が600万円減額の理由は。

答 返礼品で人気の長崎和牛が、県内のどこの市町でも取り扱えるようになったことが見込み違いの大きな原因と思われる。

歳出関連

問 最終処分場の木材破砕機の購入費用全額減額の理由は。

答 仮置きしている解体家屋の廃材を破砕して、チップにして防草材として利用しようと考えていたが、廃材に防腐剤などが含まれていることもあって断念したため。



少しずつ焼却へ

問 あわび館利活用改修工事設計業務を行わなくなったのはなぜか。

答 利活用検討委員会で町民の声を聴きながら進めていたが、まとまらなかったため。

繰り越しの理由は

問 お試し居住施設整備事業（5950万円）。

答 全体的な作業員不足などの影響で入札が2月になつたため、繰り越しせざるを得ない。

問 住民税非課税の世帯などに対して現金10万円を支給する事業（7000万円）。

答 書類の発送は終わっているが、できるだけ早い支給を目指している。

問 町道唐見崎線災害防除工事（4636万円）。

答 工事予定地の相続人が多く、用地買収交渉に時間がかかっているため。

問 霊柩車の購入（442万円）。

答 10月のモデルチェンジ後の購入で、中の改造に時間がかかっているため。4月末には納車予定。

令和 3 年度

特別会計補正予算

渡船事業	122 万円増額	7167 万円に
国民健康保険事業	2222 万円増額	5 億 1863 万円に
後期高齢者医療事業	205 万円減額	4977 万円に
介護保険事業	1151 万円増額	3 億 9034 万円に
簡易水道事業	1069 万円減額	1 億 4264 万円に
下水道事業	410 万円減額	1 億 5702 万円に
国民健康保険診療所	800 万円減額	7 億 2838 万円に

各事業ともコロナの影響等による減額修正や予算が提出され、こちらも慎重に審査を行い、すべて全会一致で可決成立しています。

7 つの特別会計総額で 1011 万円の増額となっています。



工事請負契約締結

お試し居住施設整備工事 (笛吹在地区その 1)

落札：株式会社友建設 (指名競争入札)

取得価格：5060 万円

落札率：98.4%

指定管理者決定

本町の「公の施設」の指定管理者が決まりました。

農産物加工施設 ⇒ 一般財団法人小値賀町担い手公社

指定期間は令和 4 年 4 月 1 日から 5 年間の予定です。



条例の制定

小値賀町議会議員と町長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例が制定されました。

これは、資産の多少にかかわらず立候補や選挙運動の機会を保障するようにするため、一定の範囲内で立候補者の選挙運動費用の一部を公費で負担する制度です。

選挙運動用自動車のレンタル料金や選挙運動用のビラやポスターの作成費用などが対象になります。

なお、選挙運動用通常はがきは、今までどおり町長選挙で 2500 枚、町議選挙で 800 枚無料で差し出すことができます。

詳しくは、選挙管理委員会にお問い合わせください。



一般会計補正予算

令和3年度一般会計予算

1 億 3357 万円増額 41 億 4303 万円に

～主なやりとり～

問 指定管理者に対する事業継続支援金（1100万円）の中身は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響で観光客が大きく減少し、公共施設の収益が上がらないために、町単独事業として支援するもの。

令和3年度の指定管理施設における収支と、対前年または対前々年度の収支を比較すると、アイランドツーリズム協会（古民家・野崎島自然学塾村・野崎島ビジターセンター）の収支差が700万円、藤松レストランが290万円のマイナスで、さらにこの先も収支の悪化が見込まれるため、上乘せして計上した。

問 同じようにコロナの影響で収入が減り、赤字になっ

て人件費が払えない、というような一般の事業者には支援しない。なかなか説明がつきにくいのでは。

答 あくまでも公共施設を運営する団体に対する支援だ。

問 非課税世帯等臨時特別給付金（7000万円）の中身は。

答 1世帯10万円で、非課税世帯が620世帯、令和3年は課税世帯だが令和3年中に新型コロナウイルス感染症の影響で非課税世帯並みに収入が落ちる家計急変世帯を80世帯と想定して計上している。

補正予算 賛否分かれ 賛成多数で可決成立
指定管理者への事業継続支援金に質疑が集中

1月会議では、指定管理者に対する事業継続支援金と、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金が主な内容の一般会計補正予算（第9号）を審議しました。

採決では賛否が分かれたが、賛成多数で可決成立しています。

反対



反対討論をする今田議員

アイランドツーリズム協会は、本町の観光にとって大きな役割を担っており、コロナ禍でかなり厳しい状況ということで、何らかの支援をしなければという気持ちは私も持っている。

あくまでも指定管理部門の赤字に対する支援というが、企業として他の部門も含めた中でみる必要もあるのではないか。

また、今後別の支援金などが入った場合、それも含めた収支で清算するというが、補正予算というのはそんなに甘いものではない。

本議会は通年会期制なので、もう少し中身を精査し、来週にでも改めて提案すべきだ。

賛成



賛成討論をする浦議員

アイランドツーリズム協会は旅を総合的にプロデュースしており、その波及効果は大きく、本町には必要不可欠な団体だ。

今回の補助金は、コロナ禍による全国的な移動自粛の影響により大幅な収入の減となった指定管理者を支援するものだ。

客が減って厳しい中、一生懸命に努力している我々にも補助してくれと言いたい、などの町民の声もある。

これらを重く受け止め、しっかりと事業の分析を行い、この厳しい状況を乗り切る工夫を推し進め、今まで以上に誠意をもって事業に取り組んでいただきたい。

一般会計補正予算（第9号）の賛否反 対

黒崎政美議員
今田光弘議員

賛 成

松屋治郎議員
宮崎良保議員
末永一朗議員
浦英明議員



起立（賛成）4名 反対2名

～参考資料～

町からおぢかアイランドツーリズム協会への委託料（令和3年度）

小値賀港ターミナルの管理・清掃業務委託	84 万円
観光客等の宿泊費に対して補助金を交付する業務を委託	665 万円
観光窓口を一本化するための業務を委託	685 万円
小値賀 DIY ウェディングを商品化するための業務を委託	422 万円
野首港トイレの管理・清掃	12 万円
赤浜海岸、姫の松原、愛宕山・黒島・赤浜各園地の管理・清掃業務委託	48 万円
番岳・斑・玉石鼻各園地、浜崎鼻、柿の浜、五両ダキの管理・清掃業務委託	57 万円
指定管理委託料（野崎島自然学塾村）	369 万円
指定管理委託料（野崎島ビジターセンター）	305 万円
野崎島神官屋敷の管理業務	33 万円
旧野首教会の管理業務	33 万円
合 計	2713 万円



町全体の観光窓口の使命が



野崎島自然学塾村

町からの補助金（令和3年度）

事業継続支援金（指定管理者）	800 万円
感染拡大防止事業者協力金	60 万円
小値賀町事業継続支援給付金	20 万円
観光振興事業費補助金（おもてなし体制整備）	75 万円
合 計	955 万円

一般会計補正予算

令和 3 年度一般会計予算

9458 万円増額 42 億 3761 万円に



松はほぼ全滅の番岳園地

～主なやりとり～

問 枯れた松の伐倒処分費が増額している。年度内に終わるのか。
答 緊急的に行う場所が増えたため、繰越す予定だ。番岳のダムの方から園地までの道沿いを予定している。

2 月会議では、コロナ対策のための新たな事業や、枯れた松の伐倒処分に係る費用の増額などが主な内容の一般会計補正予算（第 10 号）と、工事請負契約の変更について審議しました。
 すべて全会一致で可決成立しています。

工事請負契約の変更

町道野崎本線無電柱化工事（2 工区）

相手方：株式会社細川建設

変更前価格：6259 万円

変更後価格：6130 万 800 円

変更による減額：128 万 9200 円

問 いま！おぢかであつかうん（全町民に商品券 1 万円分）は、前回は発行が遅れたが今回の予定は。
答 5 月 1 日を基準日として商工会に委託し、その後の発行となる。

3 月会議

令和 4 年 3 月 22 日

「ロシア連邦によるウクライナ侵攻に断固抗議する決議」を全会一致で採択し、在日ロシア連邦大使館に送付しました。

決議文全文

力による一方的な現状変更は侵略行為であり、世界の安全保障と国際秩序を脅かす。今回のロシア連邦・プーチン政権によるウクライナ侵攻はウクライナの主権を侵害するものである。

かかる行為は有人国境離島地域である小値賀町としては、他国の戦争として決して看過できるものではなく、強い憤りを覚えてならない。ウクライナ侵攻の最中、核戦力を念頭に「抑止力」の警戒体制を引き上げるとのプーチン大統領の言動は、第二次世界大戦において原子爆弾による悲惨な被爆体験をした長崎県としては、極めて遺憾である。

よって、小値賀町議会は、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反であるロシア連邦によるウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア軍を即時撤退させること、及び国際社会と連携し平和的に対応することを強く求める。
 以上、決議する。

突撃取材 シリーズⅡ 回目

～ 困っているときに声をかけて～

便利屋「ひい坊」の江浦仁志さん

起業や事業拡大などで雇用の場を増やす取り組みをする意欲がある人に、国・県・町が補助金を出す事業が7年目になります。町ににぎわいが戻ってきたような気がします。



⇐ after 草刈り before ⇐



よろず便利屋さん

役場のすぐ近くに事務所を構えている江浦さん。

依頼される仕事は足場組み、舗装工事、ごみ出し、片付け、引っ越し、草刈り、枝切り、パソコンの設定、洗車、エアコンの掃除、お墓そうじなどいろいろ。

まさに「町のよろず便利屋さん」で、個人だけでなく団体や役場からも依頼があり、スタッフ総出で忙しい毎日を送っているようです。

台風が来る時に準備ができて、困っているお年寄りをみて、この仕事をしようと思い立ったとのこと。

以前は人に頼んでいたものの、高齢化が進んでそれまでできなくなっているお年寄りが多いのを実感するそうです。

仕事の料金表のようなものは作っておらず、ニーズに合わせて30分程度の仕事でも対応してもらえとのこと、これはお年寄りにとってもうれしいサービスですね。

やりがいを感じる

初めの1、2年は仕事はそう多くはない、10年くらいかけて軌道に乗せたいと覚悟を決めて始めたそうです。

まさかこんなに需要が多いとは、ということではまさに思い描いていた10年後の状態だそう。

お年寄りに喜んでいただき、感謝されることにやりがいと手応えを感じている



お休みは毎週木曜日とのこと



御用聞き箱（診療所）

そうです。今後は、島外のお客様のニーズに応じて「外貨」を稼ぎたい、定期的な仕事もしていきたいと話す明るいスタッフの皆さんでした。

町内のいろいろな工事などのようす

～日ごろから議会も現地に出向き、状況の把握に努めています～

保存修理工事実施設計業務を発注し、現状保存に向けた修復や活用方法について協議をしています。

委託：(株)都市環境研究所
金額：597 万円
工期：令和 4 年 6 月



旧小西邸

工事着手前



今年度はさらにプレハブハウスを設置し、作業スペースを増やして作業環境の改善を図ります。

請負：(株)友建設
金額：976 万円
工期：令和 4 年 3 月



ストックヤード補修

工事着手前



町道小浜中線の道路改良工事（古民家ステイ鮑集の近く）はもうすぐ完了する予定です。

請負：(有)出口建設
金額：176 万円
工期：令和 4 年 3 月



小浜中線の道路改良

工事着手前



野崎島学塾村の野営場災害復旧工事で県の事業。資材や会場運搬船の確保が遅れ、6 月頃に完了の予定です。

請負：(株)興南商工
金額：6600 万円
工期：令和 4 年 6 月



野崎ワイルドパーク

新しい診療所建設

感染拡大防止措置により資材・労務の調達に支障が出たため、当初より2か月遅れの7月中の完成を目指します。
躯体コンクリートの工事は終わり、現在は内外装の工事をしています。



請負：JV(株)上滝・大石建設(株)
金額：13億723万円
工期：令和4年7月



完成予想図



工事着手前



鉄骨資材の供給不足などにより工事は遅れ、アスファルト舗装工事が完了する9月末頃から供用開始の予定です。



可燃ごみ搬出用施設整備

その他の主な事業

小値賀小学校体育館改修工事	(有)立石電業	898万円	R4.1.31完了
テニスコート照明設備取替工事	(有)立石電業	1296万円	R4.2.15完了
柳地区防火水槽改良工事	(株)友建設	1188万円	3月完了予定
町道野崎本線無電柱化工事(1工区)	(株)友建設	3946万円	3月完了予定
町道野崎本線無電柱化工事(2工区)	(株)細川建設	6130万円	3月完了予定
町道筒井浦海岸線道路改良工事	—	—	R4.3.23再入札
町道唐見崎線災害防除工事(2工区)	—	—	R4.3.25入札

北松西高生卒業レポート

～小値賀のために私たちができること～

令和3年12月16日、平成29年度以来恒例の北松西高校3年生の卒業レポート発表会が議場にて行われました。

故郷小値賀町が抱える課題の現状と背景についてフィールドワークを通じて分析し、解決策を議会と町に提案することで、キャリアプランニング能力、課題対応能力を高めようとするものです。

また、実際に議場を使用して町政への提言を行うことにより主権者としての責任について学び、政治参加への意識を高め、一人ひとりが地域のために自ら考え、行動する住民自治の種を植えることを目的としています。



4月からはそれぞれの道へ



先生や在校生が傍聴する中、提言に対する議員からの質疑にも真剣に答弁しました

～防災意識を高める～



メンバー

出口聡士
西茉莉子
博多屋心
古田憂也

(プロジェクトB)

防災知識を高め 備えをして被害を最小限に

研究動機は

近年日本ではしばしば大規模な自然災害が発生し、大きな被害が出ている。

本町でも強い台風などにより、日常生活に支障をきたすような被害が出ることは十分に考えられるが町民の防災意識は低いようだ。

町民が防災についての知識を持ち、災害が発生した時のための備えをしていれば、災害が発生しても被害を最小限にとどめ、避難時に冷静に対応できるのではないかと考えた。

現状の把握

①本町では、自然災害による長期間の避難を想定している人は少ない。

②町の備蓄食料には限りがあり、各自で水や食料の確保が必要。

③避難時の食生活の質を向上するためにはカセットコンロが理想的。普段からカセットコンロで調理をするなどで馴染むことが大切。

試しました

昨年の卒業レポートを参考に、耐熱用ポリ袋を利用して主食としてごはん、パン、麺を作った。

さらに缶詰や菓子などを利用した料理のレシピ（じゃがりこポテト、サバ缶トマトカレー、卵ごはんピザなど）も開発した。

じゃがりこポテト

・世代を問わずに愛される食材
・調理過程が少ないレシピ

<材料>
じゃがりこ 1つ
お湯 80cc
缶詰コーン 30g
マヨネーズ 30～40g



提案します①

カセットコンロを使うことで、主食以外もおいしいレシピができた。

しかし避難所の室内でカセットコンロを使用できるところはキッチンなどに限られており、使用できる場所を増やす検討をしていた。

提案します②

昨年作成した「防災のてびき」を改訂した。町内各戸に配布するとともに町のホームページに掲載し、町民の防災意識の向上につなげてもらいたい。

また、3・6・9・12月の1日を「小値賀町防災の日」と定め、各家庭での非常食の備蓄などを防災無線で呼びかけて、町民の防災意識を高めてはどうか。

議員からひと言

良い提案をしていただいた。議会としてできることは協力していきたい。避難時に荷物が多く重たくなってしまうので、その対策の検討もしてほしい。



発言する今田光弘議員

～OJ IKA no ほ。～

メンバー

門脇衣純
崎元愛琴
遠山彩香

(民泊を活性化する)

古民家ステイ×民泊で島民全員参加の新しい観光事業を

研究動機は

小値賀には豊かな自然や人の温かさなどたくさんさんの魅力があるが、今は少子高齢化などで人手不足。町の持つ貴重な価値を人口減少によってなくしたくない。そしていつまでも活気ある島であってほしい。民泊を活性化させ、多くの人に小値賀の魅力を伝え、観光客、移住者を増やして人口増加を図りたいと考えた。

現状の把握

民泊は島民と食事や島暮らしを体験しながら観光を楽しむことができる宿泊施設。

しかし民泊民家の数は高齢化などで減り、民泊全体での収容人数が少なくなっている。

また、料理の手間や原材料費もかかることもあって大変だとの声もある。

一方で古民家ステイでは島民との交流が少ないというデメリットがある。

提案します①

空き家を改修してプライベートルームな宿泊施設を増やす。

改修には多額の費用がかかるため、学生や若手デザイナーに実習場所として提供しコストを減らす。

また、改修前の掃除や片づけを中高生がボランティアで行い、さらにコストを抑える。

提案します②

宿には島民がいないので、小値賀の郷土料理を食べられるよう「Ojibber」(オジーバー)と名付けた配達システムで家庭で作った料理を高校生が宿に届ける。漁業体験や農業体験も、食事と同じように島民が宿泊客に提供していきたい。



議員からひと言

現実でできそうな良い提案なので、小値賀アイランドツーリズム協会にこの提案を持ち込んだらいいと思う。



発言する末永一朗議員



ほっ！

～角取りGメン～

メンバー

川本健斗
北野唯奈
橋本龍輝



(牛の角を活かして)

廃棄される牛の角を活かして産業の活性化を

研究動機は

小値賀町は高齢化や若者の流出により産業の衰退が深刻化している。

観光業を中心に地域の活性化を図っているが、その成果は十分には出ていない。

地域の活性化には、学生の関心を第一次産業に向ける必要がある、その解決策として、廃棄されている「牛の角」を活用して、観光の面から産業の活性化、後継者不足の解決につなげたいと考えた。

現状の把握

推移の統計によると、小値賀町の漁業就業者数と農業就業者数は、年々減ってきている。

長崎県の漁業就業者と畜産業の飼育戸数も減少傾向にある。

一方、雨天時やオフシーズンの観光資源が非常に乏しい。

提案します①

空き家を改修するかあわび館を利用して、牛の角の加工場を整備する。

牛の角の本数には限りがあるため、魔除けや健康祈願といった付加価値をつけたアクセサリーや置物のような高価格商品をネット販売したり、ふるさと納税の返礼品に加える。

提案します②

形の悪い角などを利用して、年に2回アクセサリーやネックレスなどの「牛の角の加工体験会」を無料で開く。

加工には時間がかかるため、絵を描いて最後に整形する加工の最終段階を体験していただく。

この体験中にインスタグラムが小値賀牛の話をし、体験者にその魅力を伝え、牛の魅力に気づいてもらう。

議員からひと言

町内の牛の数には限りがあるので、小値賀のものとの区別はしっかり必要だと思いが、平戸や宇久島の協力も得てはどうか。



発言する宮崎良保議員



常任委員会から

今年度もコロナ禍により必要最小限の活動となりましたが、諸問題の解決に向け、委員会活動を続けています。

総務文教厚生常任委員会 宮崎良保委員長

納島関連

納島では、地域おこし協力隊の活動状況の調査を行いました。

納島の地域おこし協力隊のあり方については数々の疑問や不明点が浮かび上がり、今後の重要な課題として引き続き検証を進めます。

また、二次離島におけるインターネット環境についても調査を続けます。



地域おこし協力隊員からヒアリング

町への寄附物件関連

町への寄附物件について、現状視察を行いました。

笛吹郷新町の旧津田商店倉庫は付近の道幅も狭く、老朽化による危険物件として解体を予定されており、解体後の利活用のあり方を検証しました。

旧小西邸は、前面の県道がクランクしていて狭いため、歩行者の安全確保の面からも解体が予定されていましたが、「ギカイの窓」にあつた「保存すべきではないか」との意見も受け、委員会として保存の方向で意見がまとまりました。

また、町が寄附を受ける場合の何かしらの取り決めが必要だとの意見で一致し、その後「寄附物件の取り扱いについて要望書」を議会から町長に提出しています。

新診療所関連

新診療所の建設現場では、現場代理人から工事の進捗状況や課題などについて説明を受けました。

建築資材の高騰や技術職の人員不足による進捗の遅れもあるようですが、安全第一で工事を進めるとともに、町民の医療に直接影響のある施設のため、着実に充実した整備を進めてほしいと提言しました。

ふるさと留学制度関連

6月には離島留学生在が住む寮（セミナーハウス）に出向き、ハウスマスターを交えてふるさと留学制度の状況把握を行いました。

12月には完成した留學生寮の視察を行い、現状の問題点や今後の予定についてヒアリングしました。

人口減少に歯止めをかけ、本町の活性化に貢献する離島留学制度について、今後も調査を続けます。



現場事務所内で工事進捗状況を確認

西目の最終処分場

10月には西目の最終処分場を現地視察。

仮置きしていた可燃ごみは新上五島町への搬出がほぼ終わっていましたが、前年の台風の影響で増えた解体家屋の廃材は山積みのみまで、処理方法を考えて早めに処分するよう要望しました。

鉄くずも山積している状態でしたが、島外搬出は車



4月から可燃ごみは島外搬出へ

で運ぶより船で運んだ方が安くなることから、令和4年度にまとめて搬出することでした。

また海岸清掃で回収された漂着ごみについては、近く入札により島外搬出業者が決まるとのことでした。

いずれにしても、ごみはなるべくは出さない、捨てない、持ち込まない。

人それぞれが努力すべきと考えます。

磯焼けの現状と藻場対策

6月に、藻場の現状を水中ドローンが撮影した動画を見ながら、磯焼けの現状とその対策について検討しました。

平成22年度に藻場再生調査特別委員会を立ち上げ、今日まで取り組んできたことが実となって、ある程度の藻場の回復が確認されました。

委員会として、これからも引き続きしっかり取り組んでいきます。

町道唐見崎線災害防除工事

工事の状況と、雨水等の水の流れを中心にチェックしました。

防空壕の内部の状況も問題なく、町道の安全の確保のためにも工事を早く進めるよう、担当課にお願いしました。

老朽危険家屋

所有者が不明の新西町の空き家については、倒壊する危険性が高まったため、緊急安全代行措置により町が解体し、当面の安全性は確保されたようです。

しかし現場に残る解体材は建物所有者が撤去する必要がある、今後も家主を探す努力を続けていくとのことでした。

町内には老朽危険家屋や工作物が点在しており、改めて安全の確保と危機管理意識の向上を執行部に求めました。



ほかにも危険個所が点在



のり面の茶色の部分は草が茂る予定

「議員定数」 こんな意見が寄せられました

議会アンケート 2021

議会だよりの前号（第119号）では、昨年7月に町民の皆さんにご協力いただいた議会アンケートの質問項目ごとの回答数を掲載しました。

本町議会の議員定数は8名ですが、前回の選挙では立候補者は8名で無投票当選となったことから、議員定数についての記述が多く寄せられました。

今号では、いただいた自由記述の中から、なり手不足の解決策などとして「議員定数」について書かれた21人の生の声をそれぞれ紹介します。

皆さんの叱咤激励の声を重く受け止めながら、小値賀町議会は一步一步前に進みます。

なお、アンケート結果は【町ホームページ↓小値賀町議会↓議会アンケート2021】をご覧ください。

～議員定数を減らした方が良い～

- ①議員定数を減らす。
- ②人口に対してどうなのか。8人が6人でもいいんじゃないか。役場の職員もだけど公務員数が多いのでは。
- ③議員数を減らす。
- ④議員数を減らす。報酬が少なくても、町のことを考えて議員になりたいという人が出てきてほしい。
- ⑤島の人口に対して議員・役場の職員人数が多すぎると思います。
- ⑥定数を減らし（8名から6名、5名）選挙になるようにする。
- ⑦とにかく人口が増えないと議員のなり手が増えないのは当たり前。人口が減っているのだから、議員定数を減らすべき。
- ⑧人口に対して8名の議員は私は多いと思います。
- ⑨議員の数が多いと思う。
- ⑩定数1減の実施。80歳定年制の導入。
- ⑪議員の数を減らして（5人くらい）給料を上げて（30万円くらい）専念してもらったらよいと考えます。
- ⑫小値賀の人口に対して議員が多すぎると思います。
- ⑬定数削減。
- ⑭人員削減。
- ⑮議員の人数を減らす。
- ⑯人口が少なくなっているので、議員の数も減らした方がよい。

～議員定数を増やした方が良い～

- ⑰議員定数を増やす。
- ⑱8人は少ないと感じる。10人くらいが良いのでは。
- ⑲議員の人数を増やすことだと思います。
- ⑳人数を増やしたらいいと思う。女性を入れたら良いと思う。
- ㉑昔と比較したら議員の方の活動は活性化されていると思います。行政と同様に人口は減少しても仕事量は増加していると感じます。私たち住民の代表、代弁者でもあるので、住民の意見、要望を反映してもらうためにも、定数を10名くらいに見直すことも必要なのではとも思います。

教えてシリーズ(第1回)

「議会の仕事と役割」



決算特別委員会における決算審査のようす

議会は不要？ 何をしているの？

町民の皆さんが快適に住めるよう、町はインフラを整備し、医療や福祉、教育などの行政サービスの充実を図ります。

それに伴っていろいろな計画やルール作りなどが必要となり、課題や問題も生まれます。

議決する

それらを解決するために町民の皆さんが一堂に集まって話し合うことがベストですが、それはなかなか難しいことです。

そこで、選挙で選ばれた皆さんの代表者である議員が集まって議論し、政策を決定するのが「議決機関」である町議会です。

町議会で決定したことをもとに、町長を始めとする「執行機関」が実際に仕事を進めていきます。

両者はそれぞれ独立・対等の立場で互いに抑制と均衡を図りながら、町民の皆さんが安心して暮らせるように活動しています。

町の意味を決める

議会は予算や決算、条例の制定や改廃、町が締結する契約や財産の取得など、町の大事なことについて審査・審議します。

また、副町長や教育長などの重要な地位に就く人を

町長が選任・任命する場合にも、議会の同意が必要ですよ。

例えば予算を「提案」できるのは町長ですが、「決定」するのは議会です。

もし議会がノーと言えば、それは小値賀町の実情としてノーになります。



合議制のため多数決で町の実意は決まります

行政サービスの向上を図る

議会として政策決定の意思を表すために議案を提案したり、町の公益に関する

この実現を図るために、国会などに意見書を出すことができます。

また町に関するいろいろな調査を行い、必要に応じて関係者の出席や証言、記録の提出を求めることができます。

さらに一般質問や審査・審議などを通して執行機関を監視・評価する大きな役割も担っています。

町民の皆さんの多様な声に耳を傾けながら、考え、議論する議会があるからこそ行政サービスが向上し、住み良い町へとつながることになります。

次号「教えてシリーズ(第2回)」では、議員の仕事と役割など、議員のいろいろなことについてお知らせする予定です。

議員のここが知りたい、教えて、というようなものがありましたら議会事務局にお知らせください。



議会モニター意見交換会

貴重な意見や指摘をいただきました

議会では、町民の皆さんの意見を議会活動に反映させるため、10名の「議会モニター」の方に議会活動をモニターングしていただいています。

3月26日には「議会モニター意見交換会」を開催、貴重なご意見やご指摘をいただきました。

○議員は各種会合などに入って町民の声を直接聴いてほしい。

○アンケートの自由記述にあつた町民の声を議員間でしっかり共有理解しているか。

○一般質問での答弁に対してもっと追及してもいいのでは。検証も必要だ。

○町全体として何が問題なのか見つけてもっと一般質問してほしい。

○最近、重要な文化的景観に力を入れているようだが。

○議会が町民に寄り添わないと町民は議会を意識しなくなり、議員のなり手不足につながる。

○人口減少により町の存続が危うくなることをまだ他人事と考えている町民が多い。危機意識を高めて真剣に取り組みを。

○若い人がチャレンジできる環境づくりを。

○町のビジョンを前向きに研究し、明確にしてほしい。

小値賀町議会
Facebook



小値賀町議会
動画配信サイト



小値賀町議会
議会基本条例



小値賀町議会
議会アンケート



（表紙の写真）
「小値賀町ふるさと留学制度」の初めての入寮生が1年間の留学期間を終えて島を離れました。
4月には新たに入寮生3名、「しま親」に1名の留学生を迎えます。

編集 小値賀町議会広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電話 0959-56-3111



編集後記

令和4年となつて3カ月しかたつていないのに、大きな問題が数多く発生している。
北朝鮮が頻繁にミサイルを発射、トンガでは大規模な噴火と津波の発生。

先月開催された北京オリンピックでは規定違反による失格者が相次ぎ、ロシア選手にはドーピング疑惑が浮上。

ようやくオリンピック騒動が落ち着いたと思えば、今度はロシアがウクライナに軍事侵攻し、現在も激しい戦闘が繰り広げられている。

今後どうなるか予測を許さない状況だ。

今年も残りが9カ月あるのにとっても不安な年になる予感が・・

とにかく早く平和が戻ってきて欲しいものです。

（編集委員 宮崎良保）